

# 建築計画委員会活動報告

2006年度-2007年度

---

組織編成・改組

春季学術研究集会(2006ソウル・2007北京)

本委員会シンポジウム

大会協議会・懇談会・PD

特別研究委員会

技術部門設計競技

建築計画学史

各小委員会

# 組織編成・改組

---

□ 建築計画委員会の形式的体系の整理

□ 運営委員会制の導入

住宅計画・施設計画・計画基礎・構法計画・設計計画

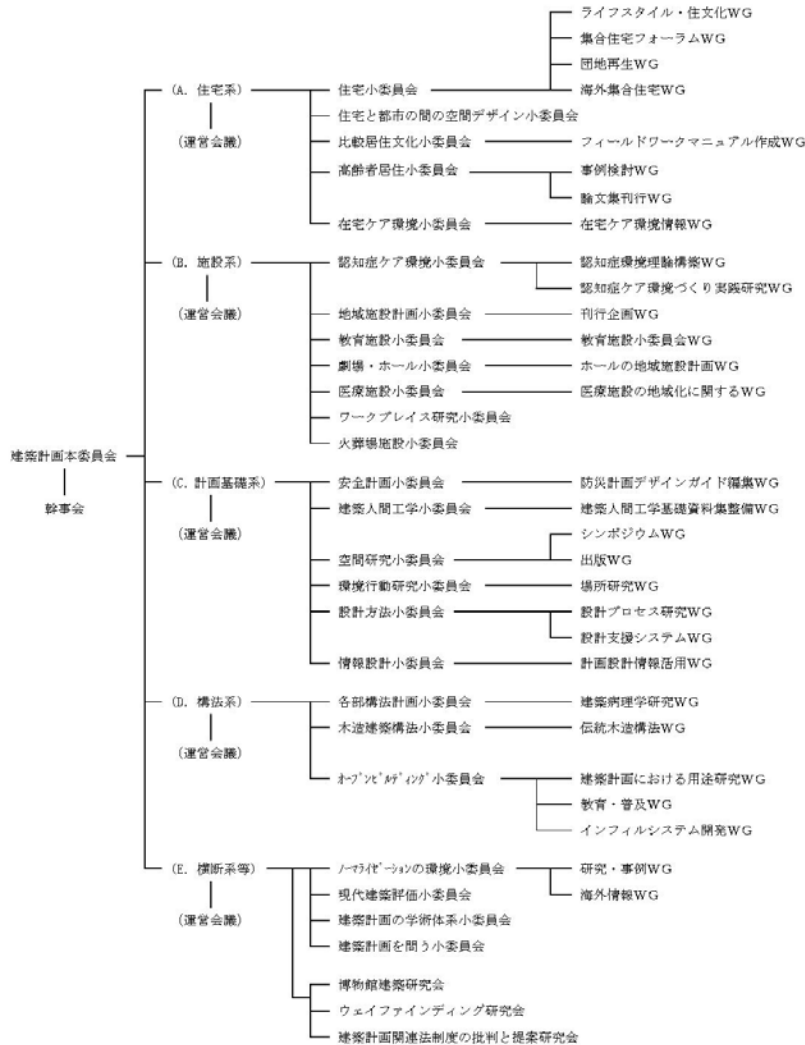
□ 建築計画委員会本委員会の縮小

建築計画委員長1名：幹事5名：運営委員会2名×5=10名：支部委員8名：委員長指名委員6名：計30名

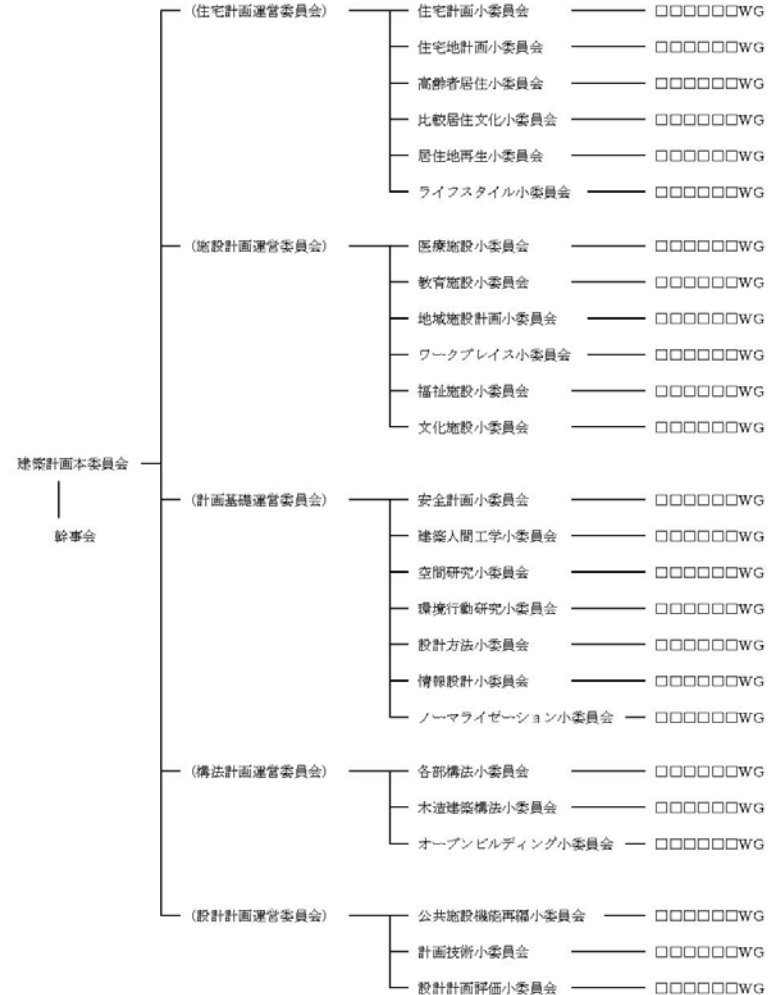
---

# 組織編成・改組

2006年度 建築計画委員会 組織構成



2008年度 建築計画委員会 組織構成(案)



# 春季学術研究集会(2006ソウル・2007北京)

## □ 都市・建築の再生と建築計画－韓国ソウルの清溪川(チョンゲチョン)復元と近・現代建築

- ①6月2日(金):○講演会(逐次通訳付き) 会場:漢陽大学校工学大学新素材工学館610号室
- (16:45 - 17:00)ご挨拶:徐鵬教(大韓建築学会建築計画分科委員長)
- (17:00 - 17:30)韓国における建築計画の現状:朴勇換(韓陽大学教授)
- (17:30 - 18:15)近代化遺産の保存と再生:金泰永(清州大学教授)
- (18:15 - 19:00)韓国における都市再生の試み(清溪川復元):許煥(ソウル市住宅局長)
- 19:30~21:30 懇親会(漢陽大学同窓会館)
- ②6月3日(土):
- -09:00 タワーホテルフロント集合
- -09:00~11:30 徳壽宮(ドクスグン)とその周辺の近代建築
- ソウル私立美術館(旧京城裁判所)/貞洞第一教会/徳壽宮/韓国聖公会聖堂ソウル本館
- -11:30~13:00 清溪川視察
- -13:00~14:00 昼食
- -14:30~15:30 秘苑(昌慶宮)
- -15:30~17:30 ソウル北村(都市型韓屋)
- ③6月4日(日):
- -09:50 タワーホテルフロント集合
- -10:30~11:30 サンスン財団リウム美術館
- -11:30~13:00 ソウル森(Seoul Forest Park Conservancy)
- -13:00~14:00 昼食後解散



# 春季学術研究集会(2006ソウル・2007北京)

---

## □ 「古都の変貌と建築計画」

□ 6月1日(金):北京集合

□ 場 所:中国建築学会 13:00-15:00 王晓京先生 中国建筑学会副秘书长 张百平

□ 周暢「北京的新建筑」講演

□ 場 所:北京大学プログラム: 場所 未定

16:00- 開会挨拶・主旨説明【5分】

布野 修司

16:05- 講演(1):北京胡同の保存と再生【45分】

呂 斌(北京大学 環境学院 都市・地域計画系 教授)

16:50- ディスカッション【10分】

17:00- 講演(2):最近の北京の建築シーン【45分】

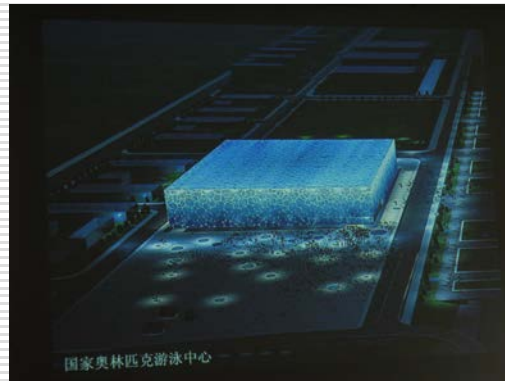
松原 弘典(松原弘典建築設計事務所 主宰/慶応義塾大学 総合政策学部 助教授)

17:45- ディスカッション【10分】

17:55- 閉会挨拶【5分】 :研究集会(中国建築学会)

# 春季学術研究集会(2006ソウル・2007北京)

## □「古都の変貌と建築計画」



# 本委員会シンポジウム

「公共事業と設計者選定のあり方

— 邑楽町役場庁舎等設計者選定住民参加型設計提案協議を中心として —

---

- 五十嵐敬喜、清水勉、パネリスト：石田敏明、小嶋一浩、藤本壮介、ヨコミゾマコト、山本理顕、於：日本建築学会建築会館大ホール、2007年3月16日
  - （「裁判は建築家の職能を守る最後の砦？」、『建築ジャーナル』No.1121、2007年5月）
-

# 本委員会シンポジウム＋パネル展示 西山卯三の計画学—西山理論を解剖する—

2008年1月15日(火)



- 主旨説明: 布野修司
- 問題提起: 西山卯三の都市住宅理論 住田昌二(大阪市立大学名誉教授・現代ハウジング研究室)／西山卯三の目指したもの 広原盛明(龍谷大学教授、京都府立大学名誉教授)／西山卯三と吉武計画学 内田雄三(東洋大学教授)
- ディスカッション: 五十嵐太郎(建築雑誌編集長・東北大学准教授)・中谷礼仁(早稲田大学准教授)・司会: 布野修司



# 大会協議会・懇談会・PD 2006年度

---

- 研協「プロトタイプからプロトコルへー21世紀の建築計画学のあり方を展望するー」
  - PD「たたかう住宅・住宅地ー住宅地の再生」
  - 研懇「建築計画、その可能性の中心ー建築計画は集落を超えることができるか」
-

大会協議会・懇談会・PD

## 2007年度日本建築学会大会(九州)

---

- 建築計画部門協議会「いま、あらためてプロセス・デザインー学の新たな枠組みの手掛かりとして」8月29日
  - 建築計画部門パネルディスカッション「住宅とマチの関係のデザイン」8月29日
  - 建築計画部門研究懇談会「建築計画研究のイノベーションー建築計画研究者の第三世代マッピング」8月30日
-

## 特別研究委員会（近代の空間システム）

---

- 2007年度日本建築学会大会（九州）特別研究委員会研究協議会「近代の空間システムと日本の空間システムの形成と評価」、「建築類型と街区組織ープロトタイプの意味ー近代的施設＝制度（インスティチューション）を超えて」、福岡大学8月29日

## 特別研究委員会（建築経済委員会共同）

---

- 建築プロジェクトにおける発注者の役割と法制度上の位置づけに関する研究
  - 発注者問題特別研究委員会
-

# 技術部門設計競技

- 公共建築の再構成と
- 更新のための
- 計画技術

## 2008年度日本建築学会技術部門設計競技

21世紀をむかえ、3,000以上あった日本の地方自治体の数は、1千数百に再編された。自治体の合併にあたって、各自治体は既存公共建築の統廃合を検討推進している。今後、新築される公共建築は半減することが予想され、また財政上の理由からも、既存公共建築機能の有効な再配置、再構成、更新が求められている。その際、魅力ある建築再生のためには、1) 計画技術(住宅系、施設系、基礎系)および2) 構法計画技術のコンビネーションが必要不可欠である。国、地方自治体、公共事業体などが保有する既存の公共建築をとりあげて、上記1)、2)のコンビネーションによる、市民と自治体から支持される持続可能な魅力的な改築の計画技術提案を募るものである。実際建設されたもののみならず計画案も審査対象とする。

# 公共建築の 再構成と 更新のための 計画技術

提出期限 2008年6月20日(金) 最優秀賞 1点 : 賞状および副賞 50万円  
第一次公開審査 2008年7月14日(月) 於 建築会館ホール 優秀賞 2点以内 : 賞状および副賞 15万円  
最終公開審査 2008年9月19日(金) 於 日本建築学会大会 (広島大学) 佳作 若干 : 賞状および副賞 5万円

### 審査員

委員長 南 一誠 (芝浦工業大学) 委員 岡垣晃 (日建設計総合研究所) / 金田光弘 (東京藝術大学) / 加茂紀和子 (みかんぐみ) /  
幹事 布野修司 (滋賀県立大学、建築計画委員会委員長) 杉本俊多 (広島大学) / 宿谷昌則 (武蔵工業大学) / 竹下輝和 (九州大学) / 長澤 悟 (東洋大学) /  
宇野 求 (東京理科大学、建築計画委員会幹事) 専門委員 大原一典 (横浜国立大学) / 小野田泰明 (東北大学) / 菊地成朋 (九州大学) /  
清水裕之 (名古屋大学) / 広田直行 (日本大学) / 藤井晴行 (東京工業大学) / 野城智也 (東京大学)

提出先: 〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 (社)日本建築学会事務局「技術部門設計競技」係 TEL:03-3456-2057/FAX:03-3456-2058/E-mail:morita@aij.or.jp  
主催: 日本建築学会建築計画委員会 後援: 国土交通省、郵政省、(社)公共建築協会、(財)建築保全センター

# 建築計画学史（建築計画本委員会）

---

- 序章 近代日本における建築学と建築計画学
  - 第Ⅰ章 建築計画学の成立とその起源
  - 第Ⅱ章 私の建築計画学史
  - 第Ⅲ章 建築計画学の展開
  - 第Ⅳ章 建築計画学論集
    - IV-1 建築計画論考とその時代
    - IV-2 建築計画の諸分野
    - IV-3 建築計画学関連論文著作再録解題
- 
- 論文・著書リスト 年表

# 各小委員会報告

---

- 住宅と都市の間の空間デザイン小委員会
  - 高齢者居住小委員会
  - 比較居住文化小委員会活動報告
  - 地域施設計画小委員会
  - ワークプレイス研究小委員会
  - 認知症ケア環境小委員会
  - 火葬場施設小委員会
  - 建築人間工学小委員会
  - 環境行動小委員会
  - 設計方法小委員会
  - 情報設計小委員会
  - ウエイファインディング研究会
  - 安全計画小委員会
  - オープンビルディング小委員会
  - 木造建築構法小委員会
-

# 住宅と都市の間の空間デザイン

## 小委員会活動報告

2006年度-2007年度

- 集合住宅見学会 (FLAMP 設計: 谷内田章夫)
- 建築学会大会PD 「住宅とマチの関係のデザインー新たなプログラムの展開を目指してー」

\* 29頁に及ぶPD記録(PDF)は学会の建築計画委員会ホームページにて公開中  
<http://news-sv.aij.or.jp/keikaku/>



PD会場風景



# 高齢者居住小委員会活動報告

2006年度-2007年度

- ・先進事例の見学会の開催...年1~2回
- ・公開シンポジウムの開催
  - 「高齢者居住をめぐる計画視点(10)  
~介護保険改正による影響」
  - 「高齢者居住をめぐる計画視点(11)  
~10年間の総括と展望」
- ・10年間の小委員会活動記録の作成



# 比較居住文化小委員会活動報告

2006年度-2007年度

---

- ・小フォーラム・拡大小委員会の開催
- ・調査手法・技術についての情報の収集
- フィールド調査マニュアル作成・出版の  
計画(継続中)

# 地域施設計画小委員会活動報告

2006年度-2007年度

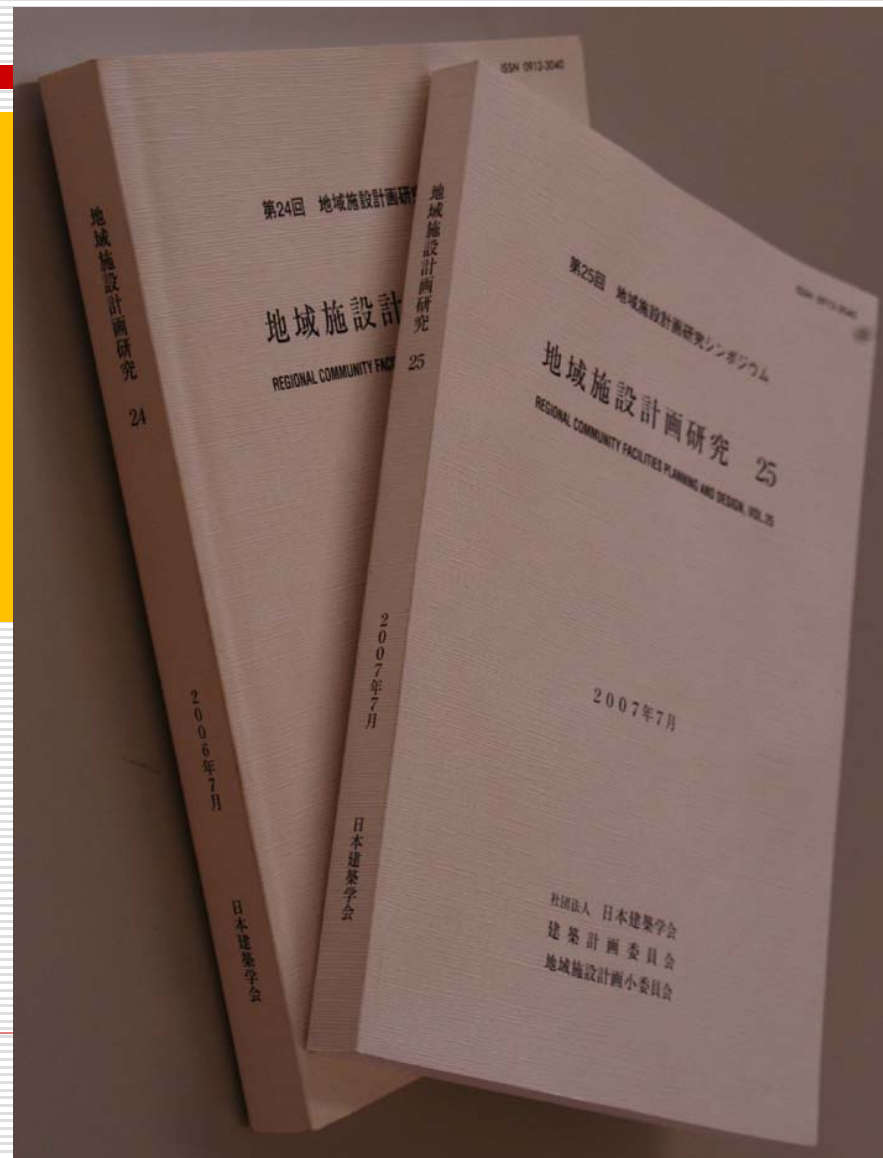
各種建物から地域、都市計画に及ぶ研究交流の場として、研究論文、設計・計画事例を募集・審査・編集し、研究発表会を開催／はや25年を経過

地域施設計画研究24

⇒ 56編、420頁

地域施設計画研究25

⇒ 43編、320頁



# ワークプレイス研究小委員会 活動報告

2006年度-2007年度

---

ワークプレイス研究会を実施し、オフィスのユーザーと設計者と研究者を交えた議論の場の創出に成功した。

第2回ワークプレイス研究会

「オフィスの創造性とコミュニケーション」

第3回ワークプレイス研究会

「都市のワークプレイス」

第4回ワークプレイス研究会

「知的創造性評価」

第5回ワークプレイス研究会

「コミュニケーションとオフィス環境」

# 認知症ケア環境小委員会活動報告

2006年度-2007年度

①学会の研究成果を基にした、ケア環境の理論化と「認知症ケア環境事典」の出版準備(200810出版予定)



②認知症ケア専門家(計560名)への認知症ケア環境づくりの普及+実践ハンドブック作成



# 火葬場施設小委員会活動報告

2006年度-2007年度

---

□設置者を中心に業務に関係する者を対象に、使用目的を次の2点と想定し、報告書をまとめるため、資料収集と資料整理を行った。

- ・設置者が住民に対して火葬場とはどういうものか説明用

- ・設置者が火葬場とはどういうものか、設計者と構築していくための共同認識を高めるもの

□集められた資料をもとに、報告書の構成を見直し意見交換を行った。

# 建築人間工学小委員会活動報告

2006年度-2007年度

---

- ・1981年の設置以来開催された通算50回の研究会（当該年度は5回開催）の資料を収集・整理・発掘し、今後の研究の展開について幅広く議論した。
  - ・第48～50回研究会において、小委員会設立から展開期までの歴代主査5名と、成果の応用・普及に第一線で活躍されている研究者4名を講師に迎え、研究会の様子を映像およびテキストで記録した。
  - ・建築人間工学の今日的役割に関するアンケートを2回実施し、その結果を活動にフィードバックした。
-



# 環境行動小委員会活動報告

2006年度-2007年度

1. 「まちの居場所をみつける」の出版企画を進めた(図1)。
2. その企画にあたっては、居場所づくりの『当事者』の視点から場所の計画を読み解く座談・討論会を開いた(図2)。
3. 委員会ホームページを開設、上記内容を公開し、活動から得られた知見の普及につとめた。

No

親と子の談話室・とぼす

子どもだけでも入れる図書コーナー付きの喫茶店



□用途(？): 喫茶店 □所在地: 東京都江戸川区 □面積: 約65m<sup>2</sup>  
□開設年: 1978年4月 □運営日: 月曜～土曜日 □時間: 11:00～19:00

1. 「親と子の談話室・とぼす」  
住宅地に小さな商店と町工場が点在する東京都の下町、江戸川区の西一之江。バス通りから続く桜並木をしばらく歩くと2階建ての白い建物が見えてくる。壁には「カフェテラス・TOPOS」の文字。ガラス張りの扉を開け、飾られた絵やドライフラワーを眺めながら、両側に木がびっしりと並べられた階段がある。「いらっしやい」、穏やかな声で主(あるじ)のSさんが迎えてくれる。  
「とぼす/TOPOS」という名前は、ク

リスチャンであるSさん夫妻が聖書の中から選んだ言葉であり、「とても居心地のいい、平安な場所」という意味が込められたギリシア語である。  
2. 喫茶店としてオープン  
今から20年前の1987年、桜の花と雪が共に舞う、そんな寒い春に「とぼす」は生まれた。  
当時は学校の校田が狭くして、子どもたちは学校からの帰りに道端で友人とゆっくりと話をしていることも禁止されていたんで

図1. 出版物「まちの居場所をみつける」の頁例



図2. さくら園(大阪)での現地スタッフを含んだ座談・討論会

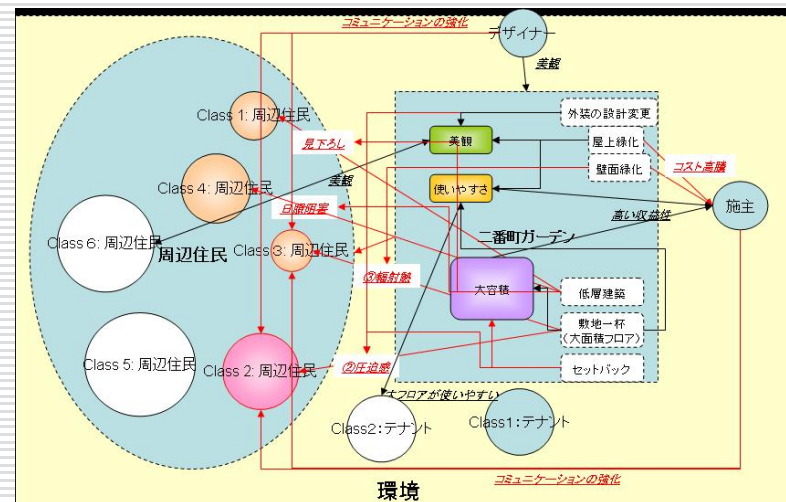


# 設計方法小委員会活動報告

2006年度-2007年度

## 1. 「関係性のデザイン」: 事例分析

例: Nプロジェクトにおける  
関係性マップ(事後)



2. 他学会との連携: Designシンポジウムの共催(2006.7, 2008.11予定)

# 情報設計小委員会活動報告

2006年度-2007年度

- ・空間設計を情報の側面から考える
- ・情報から見た設計、設計から見た情報を考える
- ・空間と情報の両者を、設計を軸に研究する
- ・建築環境設計に関わる新しい情報・構造変革を捉えて対応を考える

27回の委員会・研究会・シンポジウム・見学会等の開催

1. (情報設計シンポジウム)45名 (芸術としての空間設計)
2. (インテリア大系を考えるシンポジウム)19名(インテリア大系)
3. (情報設計シンポジウム)26名(建築環境のプログラムを基軸に考える)
4. (永田町見学会-1 国会議事堂等)48名  
(議事堂の建築インテリア、憲政記念館等)
5. (永田町見学会-2 最高裁判所等)43名(一部議事堂も)  
-3 国立国会図書館・旧永田町小学校等

# ウェイファインディング研究会活動 報告

2006年度-2007年度

---

- ・建築計画・都市計画・環境工学等の各分野の研究者が研究手法等の相互の理解と展開を目指す活動を行う研究会である。
- ・研究会(予算無)のため、メール会議、大会時の相互の意見交換、人間環境学会大会時協議会開催等、学会内の枠にとらわれない広範囲の活動を展開し、国際会議の開催を準備中である。

# 安全計画小委員会活動報告

2006年度-2007年度

---

- ・第19回安全計画シンポジウムの企画・実施

「建築物の想定外災害に対応した安全計画のあり方—地震・火災に対する人命安全を中心として—」 2008年3月12日

- ・「火災安全と建築設計・建築家のためのデザインガイド」の出版準備

2008年4月頃出版予定

---

# オープンビルディング小委員会活動報告

2006年度-2007年度

---

- (1) 公開講演会「オープンビルディング・フォーラムズ」の開催(8回)、講演内容を2009年度に出版予定
- (2) 蘭・仏のストック活用事例、団地再生事例の調査
- (3) 共同住宅のインフィル改修先進事例の調査
- (4) CIBにて研究成果の発表・研究交流

2006年: オランダ・アイントホーヘン工科大学

2007年: 東京首都大学東京

# 木造建築構法小委員会活動報告

2006年度-2007年度

共同または個人研究の発表、質疑を中心とする活動を行った。

## <主要テーマ>

1. 用材 先史時代の製材技術 歴史的木造住宅の使用樹種 用材のライフサイクル
2. 木造架構 民家付属屋の構法 明治期洋風木造と在来木造の軸組構法
3. 歴史的木造建築の環境 重伝建地区・町家改修の制度論 西欧歴史的木密地区の防災制度